

塩原もの語り館開館10周年・室生犀星歿後50年記念 特別展

平成24年 10月4日(木)

平成25年 3月31日(日)



温泉に
ア
かり心し
づめん

室生犀星 ふたたびの塩原

むろおせいせい



開館時間

【10月～11月】 8:30～18:00 (無休)
【12月～3月】 8:30～17:00 (水曜日定休)

資料館入館料

大人 ￥300(¥270)
小・中学生 ￥200(¥180)
65才以上・身障者 ￥200(¥180)
※()内は20名様以上の団体料金。

栃木県那須塩原市塩原747
TEL 0287-32-4000 FAX 0287-32-4286
<http://www.siobara.or.jp/monogatari/>



主催：那須塩原市/塩原もの語り館
後援：塩原温泉観光協会/塩原温泉旅館協同組合/那須塩原市商工会
協力：塩原文学研究会/室生犀星記念館/石川近代文学館/大田区立郷土博物館/那須野が原博物館ほか

那須野が原博物館 特別展
「見つけに行こう塩原の自然」開催
10月6日(土)～12月2日(日)

塩原もの語り館開館10周年・室生犀星歿後50年記念 特別展

温泉ゆにつかり心しづめん

室生犀星・ふたたびの塩原

「ふるさと遠きありて思ふもの そして悲しくうたふもの」という、詩の一節で知られる室生犀星は、その恵まれない生立ちから、自然との対話を深めて独自の感性をみがき、詩人、小説家として活躍しました。

大正10年、詩から小説への執筆に転じた犀星は、自身の幼い日々を題材に描いた「幼年時代」が文壇によって認められ、苦しい生活から脱するために次々に小説を発表する多作ぶり、「二年ばかりの間に小説を書くのが商売になり、お金ばかりを欲しがった」と、犀星自身が回想するほどの濫作期に陥っていました。

その年の秋、犀星はひとり塩原温泉を訪れました。塩原の自然、温泉ゆ、そして静寂が、犀星の疲れた心と身体を癒したことは、二度の来訪が物語っています。この旅によって、詩「塩原道」と随筆「秋山煙霞行」が生まれました。

本企画展では、「塩原と犀星」と題してこの作品をひもとくほか、「塩原ゆかりの犀星の友人たち」を犀星の視点から紹介していきます。



星より来れる者
(大正11年2月)
「秋山煙霞行」を収録



忘春詩集
(大正11年12月)
「塩原道」を収録



犀星愛用の品 (猫の置物・小ひきだし・腕時計)
※展示期間 10/4(木)~11/30(金)

特別展関連イベント

室生犀星記念館名誉館長
室生洲々子さんのお話し会
10/6(土)
【13:00~15:00】

室生犀星の詩朗読会
12/15(土)
【10:00~11:00・14:00~15:00】

犀星の散歩道を迎えるツアー
10/27(土)・11/3(土)、11/10(土)、
11/17(土)、11/24(土)
【10:00~12:00】
天候その他の事情により
中止となる場合もあります。

展示説明会 (塩原文学研究会会員による)
10/20(土)、11/17(土)、12/15(土)、1/19(土)、
2/16(土)、3/16(土)
【10:00~11:00・14:00~15:00】

館内のご案内

カフェレストラン洋燈 (ランプ)
10:00~16:00

売店 (塩原みやげと手作り小物)
8:30~17:00

野菜直売所 (5月~11月)
8:00~16:00

天然温泉の足湯
随時利用可能

